

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

## 市が尾こどものいえ保育園

横浜市青葉区市ヶ尾町 498-8

運営主体：社会福祉法人 たかね福祉会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～14 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	15～22 ページ
利用者本人調査分析	23～24 ページ
事業者コメント	25 ページ

2008 年 1 月 30 日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	市が尾こどものいえ保育園	
報告書作成日	2007年12月19日	評価に要した期間 4ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:07年8月中旬～07年9月3日</p>	<p>常勤職員は、会議にて園長・主任より説明を受け、非常勤職員も個別に園長より説明を受けた後、各自で記入。</p> <p>クラス毎に話し合い、一項目ずつ確認・合意の上記入。</p> <p>園長・主任・各クラス・給食室のリーダー・参加可能な非常勤職員で協議・合意をし、参加できなかった非常勤職員からは、紙面にて意見を収集。</p> <p>主任がシートにまとめる。</p> <p>全職員にまとめたシートを配布。会議にて一項目ずつを確認し、さらに検討する。</p> <p>最終的にまとめる。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:07年9月10日～07年9月28日</p>	<p>全園児の保護者（50家族）に対して保育園側から手渡し。</p> <p>各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 07年11月6日 第2日 07年11月8日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスにて保育観察。</p> <p>昼食：各クラスにて保育観察。 (2歳児以上のクラスで園児と一緒に食べる)</p> <p>午後：書類調査及び園長・主任に面接調査。 夕方は降園の様子を観察。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：各クラスにて保育観察。</p> <p>昼食：2歳児以上のクラスで園児と一緒に食べる。</p> <p>午後：各クラス担任保育士5名、栄養士1名、非常勤職員1名に面接調査。その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 07年11月6日 第2日 07年11月8日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施。園外での遊びにも同行した。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児以上の園児を中心に、観察調査時及び昼食同席時に、適宜実施した。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

市が尾こどものいえ保育園は、東急田園都市線「市が尾」駅下車、バスで約 10 分の天ヶ谷停留所近くの住宅街の中にあり、道を挟んで広い公園があります。園舎は鉄筋コンクリート 2 階建てで、1 階には、乳児クラスの保育室の他に大・小二つのホール、2 階にも幼児クラスの保育室の他にホールとテラスがあり、木をふんだんに使った明るい造りとなっています。

定員は 60 名（0～5 歳児）、平日の開園時間は 7 時から 19 時 30 分です。社会福祉法人たかね福祉会により、2005 年 4 月（平成 17 年）に開設されました。

たかね福祉会は、1969 年 4 月（昭和 44 年）東京都町田市に「たかね保育園」を開設したのが始まりで、次いで 1976 年 4 月（昭和 51 年）同市に「たかね第二保育園」を開設し、当園が法人 3 つ目の保育園です。

基本理念として、「個の確立（自立の達成）と集団への適応による基本的な人格の育成をはかる」を掲げ、保育目標は、「モンテッソーリ教育法の基本理念による、自由と規律（責任）のバランスのとれた個性的な人格（自主性、協調性、豊かな創造力、あらゆる困難も乗り越えようとする心）の形成をはかる」としています。具体的には、「家庭的な雰囲気の中で、心身の調和的な発達をはかる。子どもの発達に合わせた整備された環境の中で健康や安全等の日常生活に必要な基本的な習慣や態度を養う。色々な活動を積極的に行うように促し、自主、協調などの社会的な態度を養う。自然や社会現象について興味や関心を持てるようにする。日常生活に必要な言葉を豊かにし正しく身につけるようにする。色々な表現活動を通して豊かな情操を養い思考力の基礎と道徳性の芽生えを養う。」の 6 項目のもと、さまざまなプログラムを組んでいます。

### 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは、一人ひとりの個性を大切にされ、園生活を楽しんでいます

子どもたちは、個別に活動する時間とみんなで一斉に活動する時間がバランスよく取れた、さまざまなプログラムのもとで過ごしています。

朝、登園すると、子どもたちは、持って来たバッグや手拭きタオルを所定の位置に入れる等、一人ひとりができる限り自分で準備をし、身支度を整えます。この間、保育士は見守っています。子どもたちは次に、保育士に朝のあいさつをし、保育士も子どもの目線にあわせてあいさつを返します。その後、モンテッソーリの教具による作業（子どもたちは「お仕事」と言っています）を行います。発達に合わせたさまざまな教具が用意され、子どもたちは自分の意思で教具を選び、一人ひとり机に向かって行います。一つの教具に熱中する子、いろいろな教具に挑戦する子など、さまざまですが、静かに集中して取り組んでいます。保育士は少し離れた所から見守っていますが、途中でやらなくなったり、集中が途切れたりした場合には適切な励ましの言葉かけをしたり、一人ではできないことを援助したりしています。

その後、歌や絵本読み聞かせ等の後、朝のあいさつをしてから一斉活動に移ります。作業を続けている子もいますが、保育士は特に注意することはありません。気の済むまで作業を行い、いつの間にかみんなと合流しています。

晴れた日には、できるだけ公園に出かけます。鬼ごっこ・縄跳び・ブランコ・滑り台等で自由に遊んだり、どんぐりや落ち葉を集めたりしています。保育士も子どもたちと一緒に駆けて回っています。行き帰りの道では、地域の人とあいさつを交わしたり、花・蝶・蜘蛛の巣を見つけて喜んだりしています。保育士は、道路を横切るときは右左をきちんと確認して渡ることを、子どもたちに習慣付けています。

3・4・5 歳児は、縦割りのクラス編成です。「大きい子は小さい子への思いやりの心が育ち、小さい子は早

くお兄ちゃんやお姉ちゃんのようにになりたいという自立への気持ちが育つ」ことを狙いとしています。また、一斉活動の際は、年齢別保育を取り入れ、造形・絵画・音楽・言語等の子どもたちの発達に応じたプログラムを組んでいます。その他、5歳児は月2回、外部の指導者により体操の指導を受けています。

子どもたちは、一人ひとりの個性を大切にされ、自由に好きなことを行いながら、基本的な生活習慣や守るべきことも身につけ、充実した園生活を楽しんでいます。

## 2、保育士は常に研鑽に励んでいます

保育士は、さまざまな研修に参加していますが、特に、関連する学校法人が主催するモンテッソーリ教育法に関連した研修を重点的に受けています。研修を受けた者は、単にその内容を報告するだけではなく、勉強会で他の保育士の前で実践して見せるなど、全員が共有できるようにしています。さらに、それをもとに、教具を手作りしたりして、日々の保育に活かしています。

また、子どもたちへの接し方は、子どもの目線にあわせ、穏やかに話しかけることが徹底しています。

子どもたちを見守り穏やかに接する姿勢からは、園長の方針である「保育を押し付けるのではなく、子どもたちから学ぶ」ことが保育士全員に浸透していることがうかがえます。日々の保育が研鑽の場ともなっています。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、地域の子育て支援

開園3年目ということもあり、これまでは園の子どもたちにより良い保育を行うことに主眼を置き、内部体制の充実に力を注いできたので、地域の子育て支援は、これからの課題であると園も認識しています。職員体制等を検討の上、育児相談や隣接する公園を使つての“遊びの行事”を行う等、可能なことから手をつけるのが良いと考えます。これらの子育て支援を積み重ねていくことにより、地域の一般住民にも園の取り組みが理解され、地域との連携につながることを期待できます。

### 2、マニュアルの整備

個人情報保護や実習生・ボランティアの受け入れについて等、マニュアルが制定されていなかったり、現在あるマニュアルも内容的に不十分であったりするものが見受けられます。また、マニュアルの内容を全職員が理解し共有するための研修や、定期的な見直しが行われていません。

マニュアルがなぜ必要なのか、どのように作れば良いのか等を全職員が関わって議論することは、今やっていることの良い点、改善を要する点を全員が認識する機会となります。また、マニュアルを検討することは、現在、不足している文書・記録類を明らかにすることにも繋がります。

マニュアルの整備とその管理体制について検討することが望めます。

### 3、非常勤職員の研修・会議への参加

非常勤職員は、保育士と共に、日々子どもたちや保護者と接し、重要な役割を担っています。その資質向上のため、園は、内外の研修への参加の案内はしていますが、時間的な制約等から、非常勤職員はほとんど参加していません。また、個別には非常勤職員への指導を行っていますが、非常勤職員全員を集めての研修は行っていません。勤務時間の工夫などにより、実施することが望めます。

また、園と非常勤職員との意見交換も、個別には行っていますが、非常勤職員の総意を汲み取る機会が少ないのが現状です。非常勤職員の代表が職員会議に出席し、意見を述べる機会を設ける等の工夫が望めます。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ◇ 基本理念は、「個の確立(自立の達成)と集団への適応による基本的な人格の形成をはかる」と定め、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ◇ 保育士は、子どもの気持ちを第一に考え、押し付けることなく、子どもが自分から行動を起こすまで静かに待っています。いつも、子どもと目を合わせ、静かに穏やかな言葉で接していて、子どもの人格と自尊心を大切にしたい保育を実践しています。
- ◇ 個人情報の取り扱いについて、法人の定めた要綱があり、個人情報に関する書類等は、施錠できる書庫に保管しています。要綱に基づき、詳細な個人情報保護に関するマニュアル等の作成が望まれます。
- ◇ 職員は、子どもの様子に注意し、また保護者への声かけを心がける等、虐待の予防に配慮しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 園舎は、木をふんだんに使った明るい造りで、部屋にも余裕があり、ほぼ全室が床暖房になっています。
- ◇ 子どもたちは、一人ひとりの個性を大切にされ、園生活を楽しんでます。
- ◇ 各保育室内にはその年齢の子どもが興味・関心を持つモンテッソーリの教具が、保育士の手作りのものも含めて備えられ、子どもたちは自分の意思で教具を選び、作業に親しく取り組んでいます。
- ◇ 自由時間には、室内では、お絵描きや粘土遊び等で自由に遊んでいます。園庭ではジャングルジムや砂場遊び、草いじり、縄跳び等、子どもたちは元気に走り回っています。
- ◇ 3、4、5歳児は、縦割りのクラス編成ですが、毎日、年齢ごとに分かれての活動もあります。
- ◇ できるだけ散歩に出かけています。隣接の公園や少し離れた公園も広々としていて、大きな樹木がたくさんあり、子どもたちはのびのびと遊ぶことができます。
- ◇ 給食では、地場で取れた野菜を多く取り入れ、季節にあった食材を使用するようにし、季節の行事食も提供しています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 月間指導計画・週案は、子どもの発達や状況に応じて、作成・評価・見直しをしています。
- ◇ 園児一人ひとりについて個別ファイルを作り、児童票や経過(指導)記録、面談記録、子どもの成長発達記録、モンテッソーリ教具による指導記録等を収録しています。
- ◇ 特に配慮を要する子どもについて、職員会議で話し合い、情報の共有化を図っています。非常勤職員にもその内容を伝え、子どもへの対応の仕方に食い違いのないようにしています。
- ◇ アレルギー疾患についての知識を全職員が持っているとは言いがたく、改善が望まれます。
- ◇ 法人として、苦情解決マニュアルを制定し、苦情解決の流れを園の入口に掲示しています。
- ◇ 健康管理・感染症対策・衛生管理・安全管理等のマニュアルを制定していますが、個人情報保護規程やボランティア・実習生受け入れ等のマニュアルが未整備です。また、現在あるマニュアルも内容的な不十分さや、定期的な見直しが行われていないことなどが見受けられます。マニュアルの整備とその管理体制について検討することが望まれます。
- ◇ 保育の基本方針について、クラス懇談会、園だよりでも丁寧に説明しています。特にクラスだよりには「今月の目標」と題して、毎月の目標とする事柄を分かりやすく記載し、保護者へ提示しています。
- ◇ 保護者組織はありませんが、保護者間で要望があれば、園として支援する心積もりがあります。

#### 4、地域との交流・連携

- ◇ 地域の小・中・高校生が、保育体験のため来園したり、年長児が年2回程度、近隣の小学校を訪問したり等、学校教育との連携を図っています。
- ◇ 公園で遊ぶ機会が多く、その際地域の子どもと一緒に遊んでいます。また、散歩中、子どもたちは地域の人々と気軽にあいさつを交わしています。
- ◇ 利用希望者に対し、入園のしおりに基づいて、園の基本方針・サービス内容等を説明しています。見学の際、条件が許す範囲内で、在園児と一緒に過ごすことができます。
- ◇ ボランティアの受け入れに関し、園全体としての方針を確立することが望まれます。
- ◇ 開園3年目と日が浅いこともあり、専門性を活かした地域支援は、これからの課題と園は認識しています。育児相談等、地域の子育て支援をどのように行うか、検討することが望まれます。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 守るべき法・規範・倫理等を就業規則に記載しています。
- ◇ 環境への考え方、取り組みを明文化するには至っていません。
- ◇ 主任は、週案・日案をチェックしたり、保育日誌から、個々の職員の業務状況を把握したりする他、クラス担任も兼ねているので、現場で職員の業務状況を確認しています。
- ◇ 事業運営に影響のある情報は、私立保育園園長会や社協、法人の理事長・事務局や他の2保育園等から得ています。
- ◇ 現在の重点課題は、特に配慮を要する子どもへの対応であり、園全体として取り組んでいます。
- ◇ 中長期的な事業の方向を定めた計画を策定することが望まれます。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 職員は、横浜市や青葉区の研修、関連する学校法人主催の研修、法人が行う研修など、園外で行う研修へ積極的に参加し、発達障がい児保育やモンテッソーリ教育法などについて受講しています。特にモンテッソーリ教育法については、研修参加者が内部の勉強会で他の保育士の前で実践して見せ、全員が成果を共有し、職場で活かすように工夫をしています。
- ◇ 職員の資質向上のため、園長と職員の個別面談（年5~6回）を行い、年度目標を設定し、達成度合いを話し合っています。
- ◇ 明文化された人材育成計画の策定が望まれます。
- ◇ 必要に応じて、法人が運営する他の2保育園や関連の学校法人から、モンテッソーリ教育法等について、アドバイスを受けています。
- ◇ 職員の経験・能力や習熟度に応じた期待水準を、明文化することが望まれます。
- ◇ 非常勤職員の研修・会議へのさらなる参加が望まれます。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本理念は、「個の確立（自立の達成）と集団への適応による基本的な人格の形成をはかる」と定め、利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ 基本理念に沿って、保育目標は「モンテッソーリ教育法の基本理念による、自由と規律（責任）のバランスのとれた個性的な人格（自主性、協調性、豊かな創造力、あらゆる困難も乗り越えようとする心）の形成をはかる」としています。</li> <li>・ 保育計画は、地域の実態や周囲の環境、保護者の就労状況等を考慮して作成しています。</li> <li>・ 指導計画は、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるように作成し、また、個人記録や保育日誌等に基づき、柔軟に変更・修正しています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園説明会には、子どもも一緒に来てもらい、保育士が子どもに接し、観察をしています。</li> <li>・ 入園後、親子ともに慣れるまでは、連絡ノートその他、毎日、担当保育士が、保護者が迎えに来たときに直接会って、園での様子を詳しく伝えるようにしています。</li> <li>・ 進級に当たっては、担当保育士2人のうち、1人はできるだけ持ち上がりになるようにしています。また、進級前に、少人数ずつで次年度に使う部屋で過ごすなど、子どもたちが慣れるようにしています。</li> <li>・ 子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画・週案などの作成・評価・見直しをしています。</li> <li>・ 連絡ノート、面談、日々の連絡等から保護者の意向を汲み取り、指導計画に反映させています。</li> </ul>

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全室に空気清浄機を設置し、通風・換気等を確保しています。</li> <li>・ ほぼ全室が床暖房となっていて、保育士が適切な温度となるように管理しています。</li> <li>・ 0歳児保育室には、沐浴設備があります。</li> <li>・ 温水シャワー設備は、屋内の他、園庭・テラスにも設置しています。</li> <li>・ 砂・泥遊びの後や汗をかいたとき、おもらしをしたとき、また、あせもやアトピーがある子ども等、必要に応じて個別に対応し、まめにシャワー浴をしています。</li> <li>・ 0、1、2歳児の保育室は、2つに分けられるようになっていて、必要に応じて、小集団保育の場にしたり、食べる・寝る等の機能別に使い分けたりしています。また、2階の3・4・5歳児は、ホールを午睡の場所とし、眠れない子どもは、保育室で静かに過ごしています。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0～1歳児については、個別指導計画を作成していて、その目標・計画は子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っています。また、離乳食やトイレトレーニングの進め方等、重要な部分については、保護者と相談し、同意を得ています。</li> <li>・ 園児一人ひとりについて個別ファイルを作り、児童票や経過(指導)記録、面談記録、子どもの成長発達記録、モンテッソーリ教具による指導記録等を収録しています。また、重要な申し送り事項は、進級時に伝達しています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に配慮を要する子どもについて、職員会議で話し合い、情報の共有化を図っています。非常勤職員にもその内容を伝え、子どもへの対応の仕方に食い違いのないようにしています。</li> <li>・ 特に配慮を要する子どもや発達障がいについて、横浜市や青葉区主催の研修等にできるだけ参加し、その内容を園内の勉強会で報告し、全職員が話し合う機会を作っています。</li> <li>・ 2005・2006年度に、食物アレルギーの子どもが1名在籍し、かかりつけ医や保護者と連携しながら、除去食・代替食で対応した実績があります。</li> <li>・ アレルギー疾患についての知識を、全職員が持っているとは言いがたく、改善が望まれます。</li> <li>・ 今までに、外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもを受け入れたことはないが、今後事例が発生すれば、保護者と十分に話し合い、適切な支援を行える体制を整える方針があります。</li> <li>・ 運動会で使った万国旗に子どもたちが関心を持ったのを契機に、世界にはさまざまな国があり、いろいろな人々がいること等を、子どもたちが学べる機会を取り入れています。</li> </ul>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人として、苦情解決マニュアルを制定し、苦情解決の流れを園の入口に掲示しています。</li> <li>・ 園の入口に意見箱を設置する他、クラス懇談会・日々の送り迎え等の中で、苦情や要望を聞いています。</li> <li>・ 保育士が保護者から苦情や要望を受けたときは、園長に報告し、必要に応じて職員会議で取り上げています。</li> <li>・ 権利擁護機関等、他機関の苦情解決窓口があることを、保護者に周</li> </ul>



知していません。

## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各保育室内にはその年齢の子どもが興味・関心を持つモンテッソーリの教具が、保育士の手作りのものも含めて備えられ、子どもたちは自分の意思でそれらの教具に親しく取り組んでいます。また、途中でやらなくなったり、集中が途切れたりした場合には、保育士が適切な励ましの言葉をかけています。</li><li>・ 保育室内は、清潔で落ち着いて過ごすことができるように環境が整えられていて、机やイスは活動に応じて出し入れするなどの工夫をしています。</li><li>・ 自由時間には、室内では、お絵描きや粘土遊び等で自由に遊んでいます。園庭ではジャングルジムや砂場遊び、草いじり、縄跳び等をし、元気に走り回っています。</li><li>・ 0、1、2歳児は、年齢ごとのクラスで過ごしています。</li><li>・ 3、4、5歳児は、縦割りの混合クラスですが、一斉活動では年齢ごとに分かれて活動することもあります。朝の作業や食事、午睡の時間は混合クラスで3、4、5歳児が一緒に行動しています。活動に応じた子どもの成長を大切にしたり取り組みを行っています。</li><li>・ 夏期には散歩で見つけたおたまじゃくし、ザリガニ等や、地域の人からもらった鈴虫の飼育と観察をしています。</li><li>・ 年長児は、畑作りから野菜の収穫までの経験をいかして、再び野菜を育てようと子ども同士で話し合う等、継続的に自然と親しみ、栽培・収穫を喜ぶ体験をしています。</li><li>・ 保育士は、できるだけ散歩に出かけるように心掛けています。散歩で子どもたちは、地域の人と親しくあいさつを交わしたり、庭先の花や蜘蛛を見つけたり、公園ではドングリや落ち葉を拾ったり、かけっこをする等、元気よく過ごしています。</li><li>・ 5歳児は、外部の指導者からマット運動や鉄棒、跳び箱等、無理なく運動が好きになるような指導を受けていて、一人ひとりが目標を持ってそれらの運動を楽しんでいます。</li><li>・ 職員は、静かに、ゆったりとした物腰で、いつでも子どもの目を見て話すようにしています。子どもたちは安心して過ごしています。</li></ul>

## - 1 保育内容[生活]






- ・子どもが自分から食べようとする意欲を大切に、保育士は適切な言葉かけを行っています。また、個々人ごとに食べ物の量を調節し、完食したという充実感を子どもが感じられるように工夫をしています。
- ・3、4、5歳児は、エプロンを着け、配膳をしたり、食事の前や後のあいさつをみんなの前で行ったり等の当番を体験しています。
- ・給食では、地場で取れた野菜を多く取り入れ、季節にあった食材を使用するように心がけ、季節の行事食も提供しています。また、素材の味や香りを大切にして、薄味を心がけています。
- ・玄米食を取り入れました。導入後に保護者へのアンケートで調査したところ、好評だったので継続しています。子どもたちも美味しいと話し、喜んで食べています。現在、米飯のとき、玄米食の日が約7割となっています。
- ・栄養士は、子どもの食事の様子を見に行ったり、残食から子どもの好き嫌いを把握したりし、どのようにしたら子どもにすすんで食べてもらえるか、工夫して提供しています。
- ・年度始めに栄養士と保育士は食育会議を開催し、年間の食育について話し合い、その計画に沿って実践しています。
- ・献立表は毎月発行し、旬の食材の話やレシピも紹介しています。
- ・年長児の午睡は、就学に向けて午睡時間を短くしています。眠れない子どもは、しばらく布団の中で静かにしていますが、それでも眠れない場合は、別の部屋で本を読んだり絵を描いたりして静かに過ごしています。
- ・乳幼児突然死症候群への対応として、0歳児は10分ごとに呼吸をチェックし、記録しています。
- ・トイレトレーニングは家庭とも連携をとりながら行い、無理強いはせずに個人差を大切にしています。
- ・園では、オムツが濡れると気持ちが悪いということを子ども自身が感じとれるように、布オムツを使用しています。

## - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・ケガや病気についての対処法等のマニュアルがあり、それに沿って子どもの健康管理を行っています。
- ・園での子どもの様子について変化があった場合には、すみやかに保護者に連絡しています。
- ・幼児は、年1回歯科衛生士による歯磨き指導を受けています。
- ・食後の歯磨き指導を保育士が行っています。乳児にはお茶を飲ませ、幼児は自分でブラッシングをするが、立ち歩かずにきちんと席について行うように声かけをしています。
- ・健康診断・歯科健診の記録があり、診断の結果は保護者に伝えています。
- ・感染症についてのマニュアルがあります。感染症について、保護者へは園だより等で連絡する他、感染症が発生した場合には、玄関に掲示し、予防法も含めて情報を提示しています。園で保育中に発症した場合には、速やかに保護者へ連絡しています。



<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生管理についてのマニュアルがあります。衛生管理については、採用時新人研修を受けています。</li> <li>・ 職員会議等で衛生管理についての話し合いをすることがありますが、マニュアルの見直しまでは行っていません。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関するマニュアルがあり、事故の対策等が記載され、職員にも周知しています。</li> <li>・ 各クラスに緊急連絡網を整備し、緊急時の保護者への連絡に備えています。また、緊急時引き取り訓練を実施しています。</li> <li>・ 子どもがケガをしたときは、すみやかに保護者と連絡を取り、小さなケガであっても、必ず園が病院へ連れて行くようにしています。</li> <li>・ 事故報告書、事例研究、事故対応マニュアルがあります。また、職員会議やクラス会議等でも話し合い、再発防止に努めています。</li> <li>・ 出入り口は、インターホンで確認して開錠するようになっています。また、防犯カメラを設置し、事務室でモニターを見ています。</li> <li>・ 近くの交番の警察官に巡回してもらっています。</li> <li>・ 不審者情報が区からファックスで送られてきます。また、保護者からは近隣の小学校から得た情報が伝えられます。</li> <li>・ 事務室や各保育室には、不審者対策として棍棒とサスマタを置いています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士は、子どもの気持ちを第一に考え、押し付けることなく、子どもが自分から行動を起こすまで静かに待っています。</li> <li>・ 保育士は、子どもの人格と自尊心を大切にされた保育を実践するように、日々学習しています。</li> <li>・ 園舎は、余裕のある造りになっていて、友だちや保育士の視線を意識しないで過ごせる場所があります。必要であれば空いている部屋を利用して、話し合ったり、静かに過ごしたりすることができる等、プライバシーが守られる空間が確保できます。</li> <li>・ 個人情報の取り扱いについては、法人として定めた要綱があります。職員は、法人の研修会等でその意義や目的について学習していますが、具体的に日々の活動の中での行動基準を定めたマニュアル等は未制定です。</li> <li>・ 個人情報に関する書類等は、施錠できる書庫に保管しています。</li> <li>・ 職員は虐待についての定義を理解しています。職員は子どもの様子に注意し、また保護者への声かけを心がける等、虐待の予防に配慮しています。</li> <li>・ 保育士は、どの子どもにも一人の人間として接するように心がけています。順番、グループ分け、整列等で、男女を区別するようなことはしていません。</li> </ul>

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 保育の基本方針については、クラス懇談会や園だよりでも丁寧に説明しています。特にクラスだよりには「今月の目標」と題して、毎月の目標とする事柄を分かりやすく記載し、保護者へ提示しています。
- ・ 連絡帳は2歳まで毎日使用しています。3、4、5歳児は、お便り帳に月末、園での様子を記入しています。園では、保護者から希望があれば、2歳を過ぎても連絡帳を使用することもある等、柔軟に対応しています。
- ・ 個別面談は年2回、クラス懇談会は年1回実施し、日程については保護者の意向を大切に、柔軟に対応しています。
- ・ 保護者からの相談は、プライバシーが守られる場所で受けていて、相談には担任、主任、園長が対応しています。職員は相談対応の研修を受けています。また、相談の記録があり、継続的な支援ができるようになっていきます。
- ・ 園だより、クラスだよりは毎月発行し、その中で保育内容や、折々の子どもの成長等も丁寧に記載しています。
- ・ 子どもが「何をしたか」ではなく、「どのようにしたか」という過程を大事にする園の方針の下、その日の保育の様子を知らせる掲示はしていません。話すことのできる子どもの場合、園での一日の出来事は直接子どもから聞く等、親子が話し合う時間をできるだけ持って欲しい、と園は願っています。
- ・ 保育参観は年2回ですが、その他も随時受け入れていきます。
- ・ 保護者会等はありませんが、園では、要望があればいつでも保護者の活動を支援する姿勢でいます。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園は、これまでは保育内容の充実に力を注いできました。地域に向けた支援はこれからですが、地域の子育てニーズについては、園長会や様々な会議を通して把握しています。</li> <li>・ 一時保育、交流保育、園庭開放等はありませんし、地域に向けての講習会等も行ったことはありません。園としては、その必要性を理解していますので、検討・実施が望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民への情報提供や育児相談は、まだ実施していませんが、今後はそのような対応についても考えていく意向です。関係諸機関・団体との連携もこれからです。</li> </ul>




## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会に、近隣の老人ホームの方や、地域の住民、自治会長等を招待しています。</li> <li>・ 地域の小・中・高校生が、保育体験のため、来園したり、年長児が年2回程度、近隣の小学校を訪問したり等、学校教育との連携を図っています。</li> <li>・ 園敷地の一部を地域のゴミ集積所として提供し、近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っています。</li> <li>・ 公園で遊ぶ機会が多く、その際地域の子どもと一緒に遊んでいます。また、散歩中、子どもたちは地域の人々と気軽にあいさつを交わしています。</li> <li>・ 自治会や地域の団体や機関と、協力して行事を行うまでには至っていません。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用希望者に対し、入園のしおりに基づいて、園の基本方針・サービス内容等を説明しています。</li> <li>・ 見学日時は、できるだけ希望者の都合に合わせています。</li> <li>・ 見学の際、条件が許す範囲内で、在園児と一緒に過ごすことができます。</li> <li>・ 園のパンフレットは製作中であり、地域や関係機関に、随時情報を提供するには至っていません。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員には、あらかじめ実習生受け入れの考え方を説明しています。</li> <li>・ 受け入れの担当は主任であり、受け入れ時の記録を整備しています。</li> <li>・ 中高生の体験学習を受け入れています。</li> <li>・ 大学生・専門学校生等の実習は、先方の要望を聞いてプログラムを組んでいますが、必ず0歳から5歳児まで、すべての年齢の発達段階をみてもらうようにしています。</li> <li>・ ボランティアについては、園長・主任は必要性を認識しているが、園全体としての方針は定めていません。職員会議等で議論し、検討することが望まれます。</li> <li>・ ボランティアおよび実習生受け入れのためのマニュアルを作成することが望まれます。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は、横浜市や青葉区の研修、関連する学校法人主催の研修、法人が行う研修など、園外で行う研修へ積極的に参加し、発達障がい児保育やモンテッソーリ教育法などについて受講しています。研修参加者は、その内容を内部の勉強会でも他の保育士の前で実践して見せるなど、全員が成果を共有し、職場で活かすように工夫をしています。</li> <li>内部研修は、非常勤職員にも開放していますが、時間的な制約等があり、参加実績は少ないのが現状です。非常勤職員全員を対象とした研修を別途開催する等、資質向上への取り組みが望まれます。</li> <li>明文化された人材育成計画の策定が望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、法人が運営する他の2保育園や関連の学校法人から、モンテッソーリ教育法等について、アドバイスを受けています。</li> <li>業務の中で工夫・改善した良いサービスの事例は、職員会議や内部研修などで紹介し合い、職員間で共有しています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>園長（必要に応じて主任）と職員の個別面談を年5～6回行い、職員の満足度や要望を把握しています。</li> <li>職員の経験・能力や習熟度に応じた期待水準を、明文化することが望まれます。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 守るべき法・規範・倫理等を就業規則に記載しています。</li> <li>・ 経営・運営状況等の情報公開は、法人として準備中です。</li> <li>・ 他施設での不正、不適切な事案については、職員会議等で紹介し、日々の保育の上で似たような事例があるかどうか等、気づきの材料としています。</li> <li>・ ミスプリント用紙や端紙等は、所定の箱に入れるようにし、再利用・有効利用を図っています。</li> <li>・ 不要な照明は早めに消す等、省エネルギーに取り組んでいます。</li> <li>・ 環境への考え方、取り組みを明文化するまでには至っていません。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議や勉強会の中で、園長が、基本方針や園の考え方を話し、職員の理解を促しています。</li> <li>・ 開園2年目に幼児クラスを完全な縦割りクラス編成としたときや、玄米食導入の際に、あらかじめ保護者に十分説明をしています。</li> <li>・ 主任は、週案・日案をチェックしたり、保育日誌から、個々の職員の業務状況を把握したりする他、クラス担任も兼ねているので、現場で職員の業務状況を確認しています。</li> <li>・ 主任は、職員からさまざまな相談を受け、じっくりと話を聞いて共に考える等、信頼されています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業運営に影響のある情報は、私立保育園園長会や社協、法人の理事長・事務局や他の2保育園等から得ています。</li> <li>・ 現在の重点課題は、特に配慮を要する子どもへの対応であり、園全体として取り組んでいます。</li> <li>・ 同法人の3つの保育園を担当する外部の会計士等から、運営に関する意見を聞いています。</li> <li>・ 中長期的な事業の方向を定めた計画を策定することが望まれます。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2007年9月10日～9月28日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）  
各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。
- 3、回収率 66.0%（50枚配付、33枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...3人、1歳児クラス...6人、2歳児クラス...4人、3歳児クラス...7人、  
4歳児クラス...6人、5歳児クラス...7人

ただし同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもについて回答

### 設問ごとの特徴

#### 【問1】保育園の基本理念や基本方針について

保育目標・方針を「知っている」保護者は90%を超えています。「知っている」と答えた保護者の内、90%以上が「賛同できる」と答えています。“園の一貫した姿勢に触発された”“教育の熱心さに感心”などの回答があります。

\*数値は「よく知っている」と「まあ知っている」や「賛同できる」と「まあ賛同できる」をあわせたもの

#### 【問2】入園時の状況について

「子どもの様子や成育歴を聞く対応」については満足度95%を超えています。その他の項目の満足度は80%を超えていますが、「見学時の受け入れ」については、開所当時（3年前）は建設工事中で見学が制約されたと推察され、“見学していない”等、「その他」の回答が多くなっています。

満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたもの（以下同様）

#### 【問3】年間の計画について

「行事などの説明」の満足度は約85%、「保護者の要望が活かされているか」の満足度は75%を超えて、概ね理解されています。

#### 【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」に関しては、「クラス活動」「十分な外遊び」「教材」「園外活動」「友達との関わり」「保育士との関係」「健康づくり」など全ての設問で90%を超える高い満足度です。“保育方針に基づいた適切な教材で大満足”“公園やプールでの遊び、素朴な素材の遊び道具等、子どもが楽しく過ごせると思う”と言った意見があります。

「生活」に関しては、「献立内容」「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」はいずれも100%の高い満足度で、その他の項目も不満はほとんどなく、ほとんど満足という結果になりました。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気」は100%の満足度です。「施設設備」「感染症についての情報提供」も、90%を超える高い満足度です。「外部からの不審者侵入に対する備え」は、「どちらかといえば不満」「不満」を合わせて20%を超え、安全面に若干不安を感じる意見があります。

#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

「懇談会や個別面談」「園だよりなどでの情報提供」「時間内の柔軟な対応」「保護者からの相談事への対応」では90%を超える満足度です。一方で「行事の開催日時への配慮」「送り迎えの際の子ども様子の説明」については、「どちらかといえば不満」「不満」を合わせると約20%です。‘平日昼間の懇談会などへの出席



が難しい'との意見がありました。

**【問7】職員の対応について**

「お子さんが大切にされているか」「保育生活を楽しんでいるか」「話しやすい雰囲気・態度」「意見や要望への対応」はいずれも90%を越える高い満足度です。“辛抱強く穏やかに子どもへも保護者へも接してくれる”“子どもへの対応が一貫している”“単なる保育に留まらず、子どもの自立と成長を促してくれる”などの意見があります。

**【問8】保育園を総合的に評価すると**

100%の保護者が満足していると答えています。

**まとめ**

各設問のうち、とくに「給食の献立内容」「基本的な生活習慣の自立への取り組み」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気」の3項目の満足度が100%です。子どもたち本位の園の取り組みが評価され、総合的な評価でも100%の非常に高い満足度を得る結果につながっていると考えます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

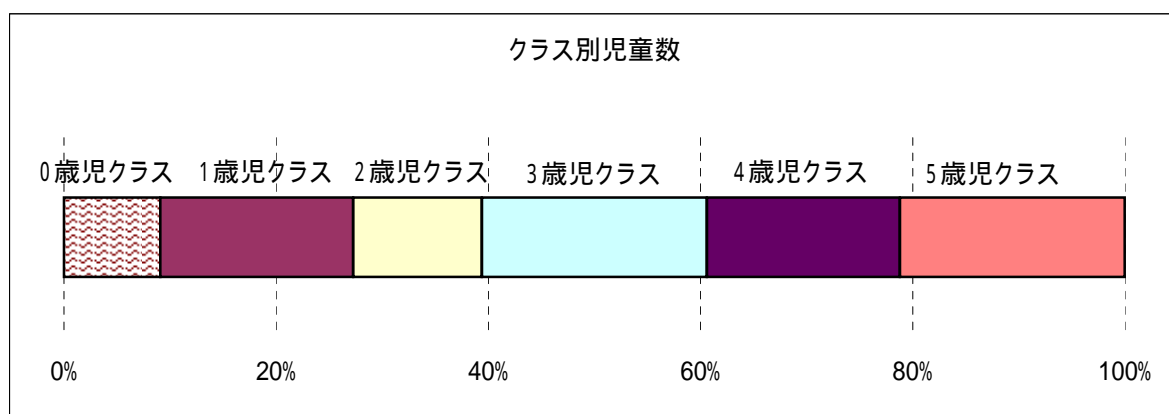
実施期間： 2007年 9月10日～9月28日

回収率： 66.0% （回収33枚 / 配布50枚）

### 【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
33	3	6	4	7	6	7	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもについて記入（以下同じ）



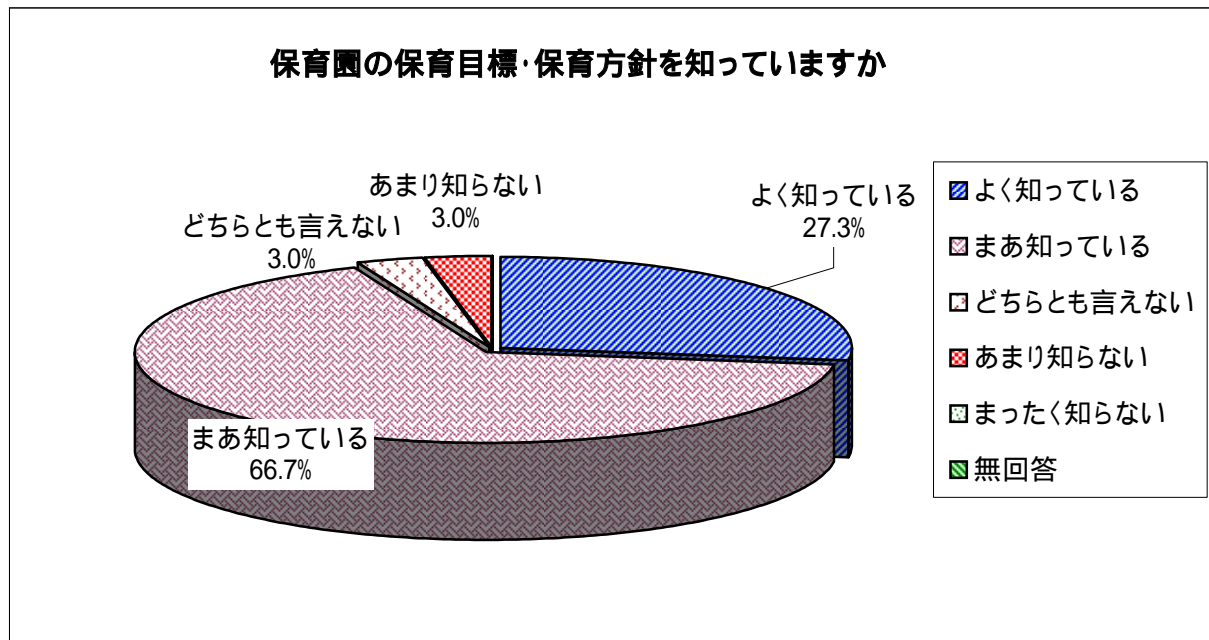
# 保育園の基本理念や基本方針について

## 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	27.3	66.7	3.0	3.0	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

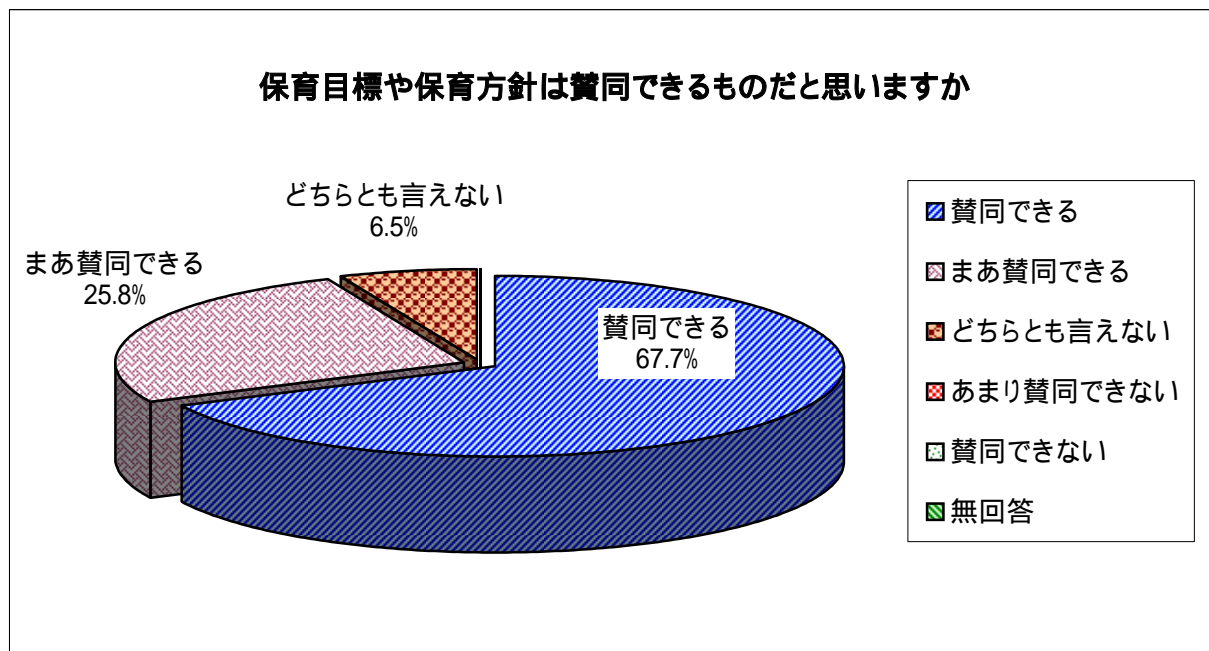


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

## 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	67.7	25.8	6.5	0.0	0.0	0.0	100



# 保育園のサービス内容について

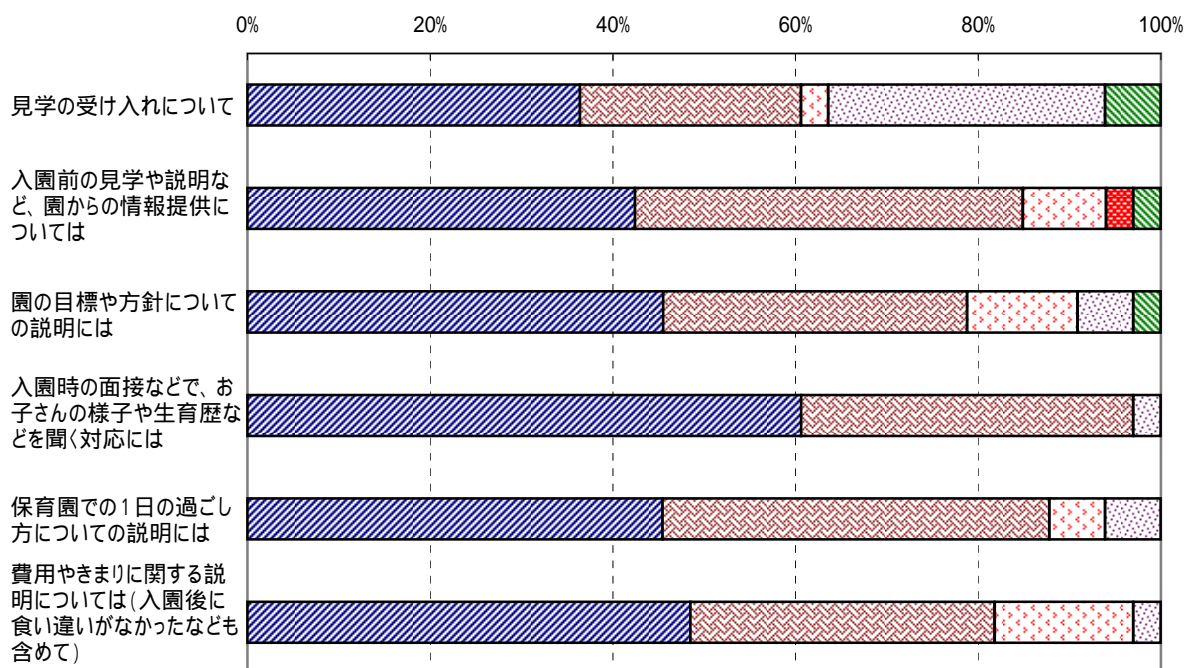
## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	36.4	24.2	3.0	0.0	30.3	6.1	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	42.4	42.4	9.1	3.0	0.0	3.0	100
園の目標や方針についての説明には	45.5	33.3	12.1	0.0	6.1	3.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	60.6	36.4	0.0	0.0	3.0	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	45.5	42.4	6.1	0.0	6.1	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったなども含めて)	48.5	33.3	15.2	0.0	3.0	0.0	100

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



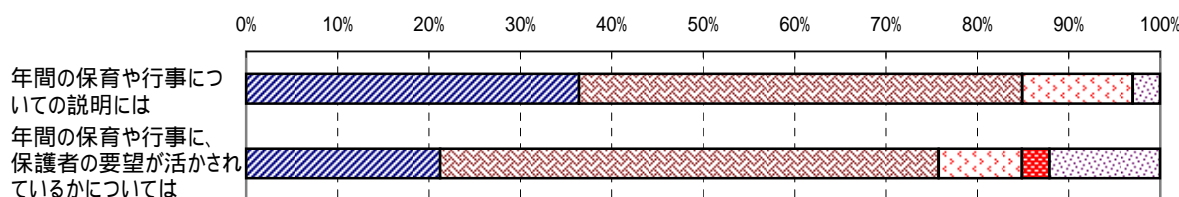
## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	36.4	48.5	12.1	0.0	3.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	21.2	54.5	9.1	3.0	12.1	0.0	100

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問4 日常の保育内容について

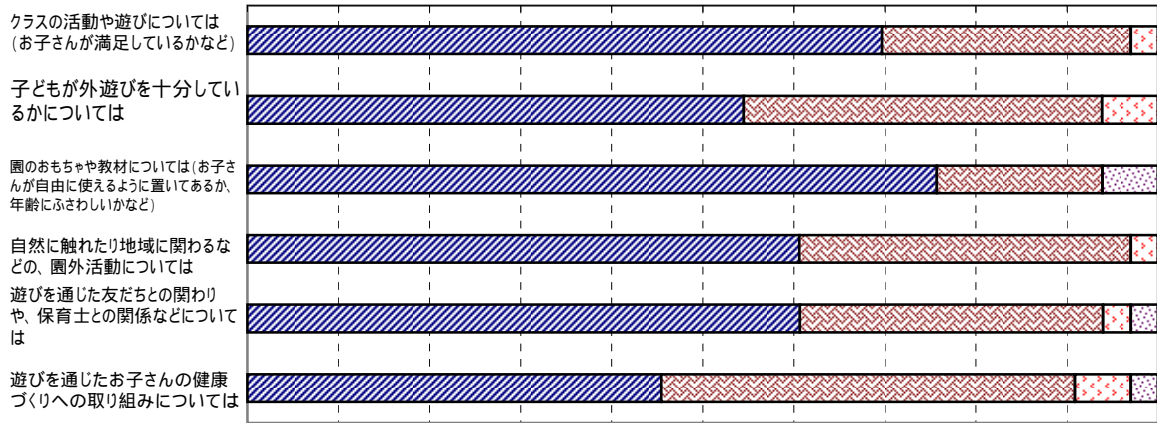
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	69.7	27.3	3.0	0.0	0.0	0.0	100
子どもが外遊びを十分しているかについては	54.5	39.4	6.1	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	75.8	18.2	0.0	0.0	6.1	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	60.6	36.4	3.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	60.6	33.3	3.0	0.0	3.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	45.5	45.5	6.1	0.0	3.0	0.0	100

#### 日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



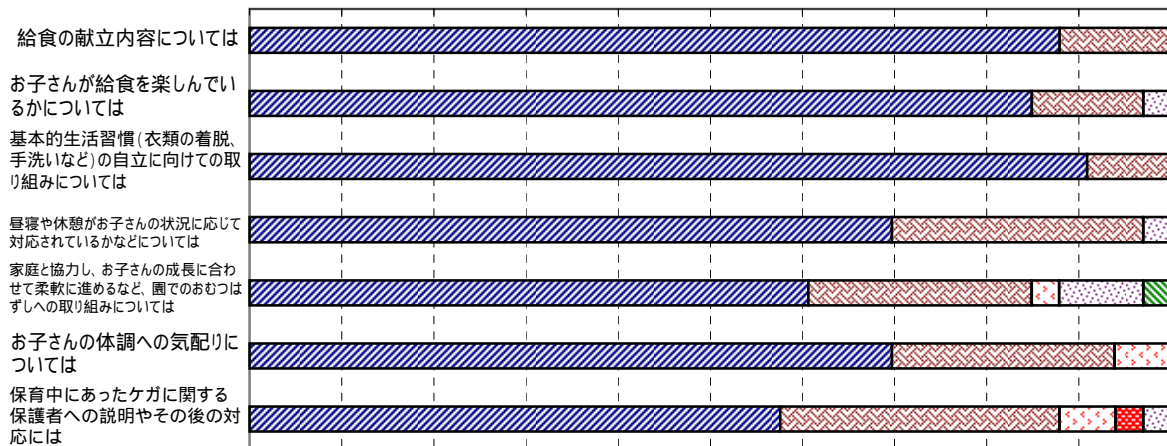
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	87.9	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	84.8	12.1	0.0	0.0	3.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	69.7	27.3	0.0	0.0	3.0	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	60.6	24.2	3.0	0.0	9.1	3.0	100
お子さんの体調への気配りについては	69.7	24.2	6.1	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	57.6	30.3	6.1	3.0	3.0	0.0	100

#### 日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



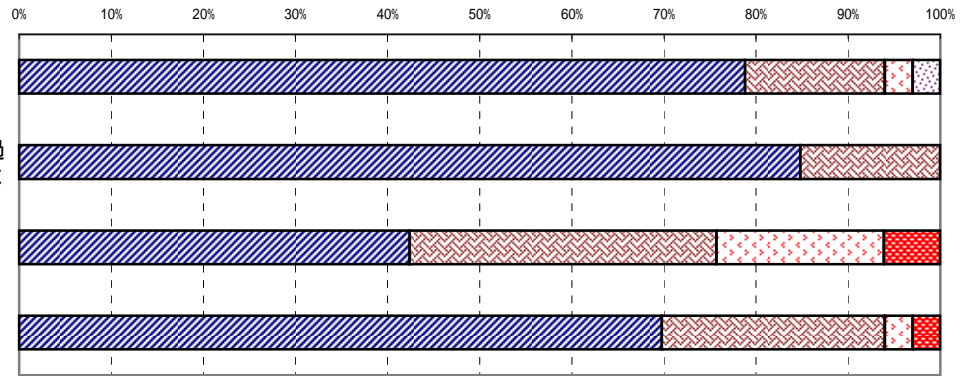
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	78.8	15.2	3.0	0.0	3.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	84.8	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	42.4	33.3	18.2	6.1	0.0	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	69.7	24.2	3.0	3.0	0.0	0.0	100

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



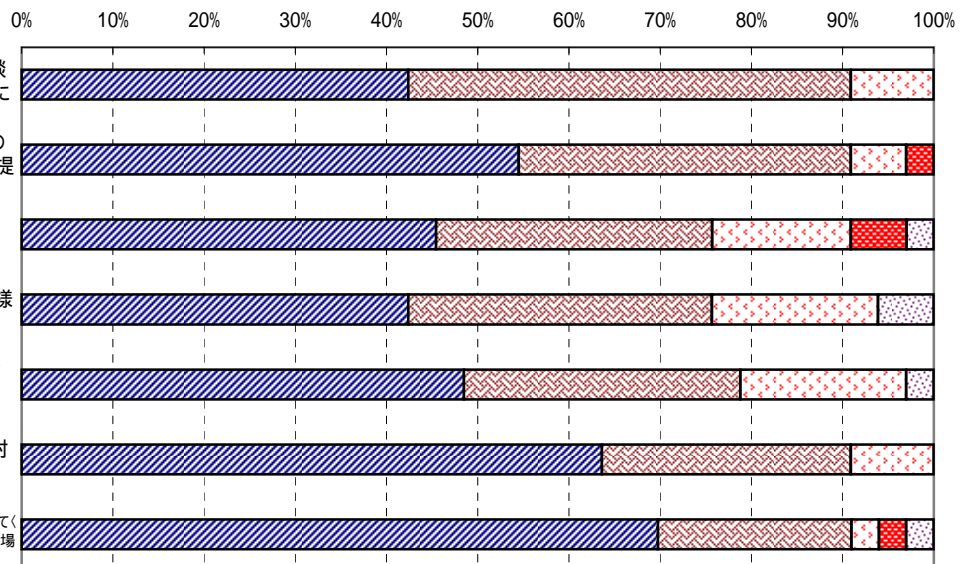
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	42.4	48.5	9.1	0.0	0.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	54.5	36.4	6.1	3.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	45.5	30.3	15.2	6.1	3.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	42.4	33.3	18.2	0.0	6.1	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	48.5	30.3	18.2	0.0	3.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	69.7	21.2	3.0	3.0	3.0	0.0	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

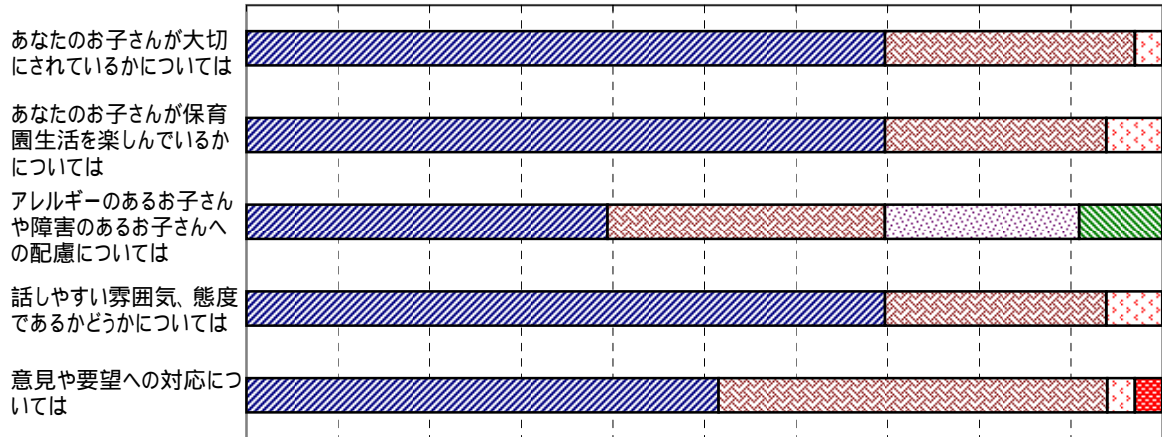
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	69.7	27.3	3.0	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	69.7	24.2	6.1	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	39.4	30.3	0.0	0.0	21.2	9.1	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	69.7	24.2	6.1	0.0	0.0	0.0	100
意見や要望への対応については	51.5	42.4	3.0	3.0	0.0	0.0	100

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



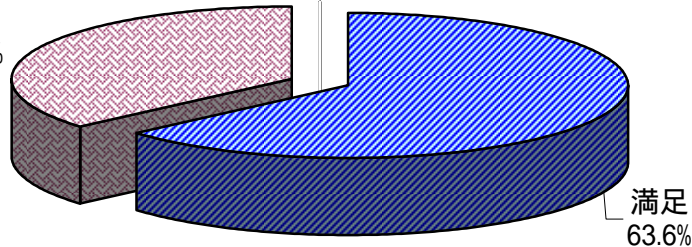
### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0	100

#### 総合満足度

どちらかといえば満足 36.4%



■満足  
■どちらかといえば満足  
■どちらかといえば不満  
■不満  
■無回答

## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 11月6日（火）9：00～18：00 11月8日（木）9：00～18：00

両日とも、9:00～13:00頃の時間帯を中心に、断続的に保育観察を実施  
観察中、5歳以上の園児を中心に適宜聞き取りを実施

### 0歳児クラス

子どもは保育室に入ると、それぞれ興味のある教具に、ハイハイや、つたい歩きをしながら進みます。保育室には個々の発達に合わせた教具が保育士により準備されていますので、満足するまで教具で遊び、満足すると次の教具に移って遊びます。子どもたちは、保育士の優しい、静かな、ゆっくりとした話し方にじっと耳を傾けています。

食事は保育室の隣の食事室で食べます。エプロンをつけ、「いただきます」のあいさつをして食べ始めます。月齢の低い子どもは、上手に食べられなくても、自分の手で一生懸命、自分の満足するまで食べています。食後はお茶を飲み、子どもは一人ずつ保育士と向き合って「ごちそうさまでした」と言います。その頃になると眠くなってそのまま昼寝になる子どももいます。保育士は、子どもが寝付くまで静かに歌ったり身体をさすったりして側にいます。

排泄は、子どもの排泄リズムに合わせて保育士が声をかけます。一人ずつトイレ室に入り、保育士から話しかけてもらいながらオムツを替えてもらいます。園では布オムツを使用しているので濡れた感じがよく分かり、子どもたちもすすんでトイレに行っています。

庭で砂遊びをした子どもたちは、外の水道で手を洗い、天気が良かったので、ベランダの板張りで着替えをします。保育士に見守られながら、できるだけ自分で着替えようとしていました。

髪の毛を引っ張ったり、おもちゃを取り上げたりする子どもに対して、保育士は「引っ張ると痛いよ」「替わりばんこに貸してもらおうね」と言いながら、静かに諭しています。

### 1歳児クラス

登園後、保育士と目を合わせてきちんとあいさつをした後、連絡帳や手拭きタオルをかごに入れ、袋を掛けて保育室に入ります。自分のやりたい教具がある机に座り、何度か繰り返して満足したら次の机に移ったり、または棚から新たな教具を持ってきて、繰り返し作業をしたりします。ビーズ通し、はめ込み板、ポピン通し、様々な形の容器の蓋を開けたり閉めたり等の作業も、熱心に繰り返し飽きるまでやります。ファスナーの開け閉め作業は、上手にできます。

保育士は、散歩に行く前に「トイレに行きましょう」と言いますが、したくない子には無理強いしません。ズボンやパンツは自分で脱ぎ着をします。できないところは保育士に手伝ってもらいます。便座に座って用を足している子どももいます。保育士からパンツをはかせてもらった子どももいますが、低いイスに座って、できるだけ自分でズボンをはこうとしています。

散歩の途中では、近所の人から声を掛けられ、保育士と一緒にあいさつを返しました。途中で疲れたと言っていてしゃがみこむ子がいましたが、保育士がその子に話しかけながらじっと待っていると、再び歩き始めました。公園ではどんぐりや落ち葉を拾ったり、かけっこをしたりして遊びました。また、ミキサー車が仕事をしているのを飽きずに眺めていました。

食事の前にはトイレに行き、手を石鹸で洗い、自分のタオルで拭きます。エプロンを付け席につき、保育士と子どもたちは一人ずつあいさつをします。茶碗を持つ際には、「二つのおてでね」と両手で持つように保育士に声をかけられています。食べ終わったら同じように「ごちそうさまでした」のあいさつをします。最後にお茶を飲み、トイレに行き、着替えて午睡です。

### 2歳児クラス

登園するとまず自分で靴下を脱ぎ、荷物や手拭きを決まった場所に置きます。その後「おはようございま



す」と保育士にあいさつをして部屋に入ります。子どもたちは準備されている教具のところに行き、作業に取り掛かります。多くの種類の教具が準備され、はさみで紙を切る、スポンジを使って水絞り、お絵描き、ボタンのかけはずしをする等の作業を行います。子どもは作業の途中で分からなくなったり、集中が途切れたりした場合には、保育士から励ましの言葉かけをしてもらっています。

作業が一段落すると隣の部屋に移動し、ピアノに合わせて歩いたり、跳んだり、歌をうたいます。その後、絵本「かぜひき、ころわん」を保育士から読んでもらいます。

おやつの際は、保育士から子ども一人ひとりにお菓子をもらい、その都度「ありがとう」「どういたしまして」が繰り返されます。最後の子も静かに待っています。食べ終わると保育士と共に「ごちそうさま」と言います。

散歩では、近所の人に声をかけられ、子どもたちもあいさつを返しました。また、蝶や蜘蛛の巣を見つけたり、ミキサー車の仕事を眺めたりしました。公園では、山道を駆け、自由に樹木の間に入って遊びます。保育士に「袋をください」と言い、どんぐりや落ち葉を拾ってその中へ入れました。散歩から戻ったらうがい・手洗いをしています。

食事のときは、食べる前に当番があいさつをし、献立を紹介します。食事は保育士が順番に配り、配られた子どもから食べ始めます。どの子どもも美味しそうによく食べていました。食後はうがいをし、汚れた服を着替えてお昼寝です。

### 3・4・5 歳児クラス

(3・4・5 歳児は縦割りクラスですが、内容・時間帯によっては横割りになって年齢別の活動もしています)

子どもたちは、登園後、保育士にきちんと朝のあいさつをして室内に入ります。身支度を整えてから自分の好きな教具のところへいきます。どの子どもも集中して作業に取り組んでいます。作業はジグソーパズル、穴通し、コップへ水を注ぐ、花瓶に花を生ける、すり鉢でゴマをする、線に沿ってはさみで切る、色紙を紙に貼り付けて形を作る、字を書く、絵本を読むなど様々です。花の名前を聞いてきた子は、「本で調べてみては」と言う保育士の勧めで本を調べはじめました。

保育士が鳴らした小さなベルの音で作業を終了し、イスを持ってきて丸くなって座り、絵本「みんなピカピカ」を保育士から読んでもらいます。

その後、年齢毎に分かれ、前日の芋ほりを思い出しながらお絵描きや制作をしました。3 歳児クラスは、新聞紙をぐしゃぐしゃに丸めてサツマイモを作り、どんな色だったかを思い出しながら絵の具で塗ります。作品ができた子は石鹸で手を洗った後、みんなの作業が終わるまで静かに絵本を読んで待っています。4 歳児クラスでも、芋ほりを思い出してクレヨンでサツマイモの絵を描きました。描いた絵を壁に飾ってもらい、みんなで眺めます。5 歳児クラスでは、ホールで大きな紙に絵の具を使って、大きな芋、つたのついた芋などを自由に思い思いに描きました。描きあがった子は、絵筆を洗ってから園庭で遊びます。

その後、保育園の隣にある公園へ出かけました。道路を横断するときには、何度も左右を確認してから渡っています。ブランコ、鉄棒、滑り台、縄跳び、鬼ごっこ、どんぐり拾い等、元気に遊びます。作業の時間以外は、おしゃべりもにぎやかで、とても元気よくのびのびとしている様子がうかがえました。また、年長児としての意識も高く、年少の子をいつくしむ様子が見て取れました。

### 保育士・職員について

保育室はどのクラスも清潔できちんと整頓され、子どもたちはその中でゆったりと過ごしています。保育士は、いつも静かで穏やかで丁寧に、子どもたちに話しかけています。大声を出さず保育士は一人もいなく、子どもの元気な声を除けば園全体が静かです。

保育士は、子どもたちが自主的に集中して作業に取り組めるように、子どものやりたいことや気持ちを尊重し、できないところを手伝う以外、見守ることを心がけています。作業中の子どもたちが、正しい姿勢でイスに座って机に向かうようにも配慮しています。また、保育士は姿勢を低くし子どもと同じ目の高さで、子どもの目を見ながらあいさつをし、話しかけています。乳児組の子どもたちは、保育士の目や口元をじっと見つめ、真似をして歌を歌ったりあいさつをしたりしています。子どもの自主性を信じて、じっと待っている保育士の姿が印象的でした。

## 事業者コメント

開園以来3年間、大切なお子様をお預かりしていること、そして園の保育理念を柱として子どもたちの健やかな成長の支援をすること、この2つの事を職員で常に確認しながらの試行錯誤の日々でした。

この度の第三者評価の受審は、これまでにやってきた事の見直しをしたり、話し合いをする事により、尚一層子どもへの思いを強くする事のできた意義深いものでした。

お忙しい中にご協力下さった保護者の皆様のアンケートを通して、賛同頂いた点、又、評価調査員の方より認めて頂いた点については、これに甘んじることなく更に研鑽を積み、又、改善すべき点についてはこれからの課題として取り組んでいきたいと思えます。

生まれながらにして可能性を持った、未来のある子どもたち一人ひとりが幸せになるように援助することが、保育に携わる者の使命である事をいつも念頭におき、保護者の皆様、地域の皆様のご協力とご支援を賜りながら、これからも信頼される保育園づくりに邁進していきたいと思えます。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.rakuraku.or.jp/hyouka/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目26番地 洋服会館2階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---